

# 都議会民主党レポート

都議会民主党 東京都議会議員

# 鈴木 かつひろ



足立区選出  
鈴木 かつひろ  
プロフィール

都議会民主党総務会副会長 総務委員会委員／平成 20 年度公営企業会計決算特別委員会委員  
NPO法人 東京都日中友好協会顧問／財団法人 東京都スポーツ文化事業団評議員  
1957 年足立区生まれ 早稲田中～早稲田高校、中央大学法学部法律学科卒

平成 23 年第三回都議会定例会終了

## 2020年五輪招致を決議！ 自民の議長不信任提出で議会混乱！



平成 23 年第三回都議会定例会が 10 月 18 日に終了しました。

本定例会は、会期の11日間延長。都議会自民党による議長不信任提出という異例の議会となりました。オリンピック招致を実現させようという、この時期に、あえて議長不信任案を提案するような自民党の対応は極めて遺憾です。私たちは、都民の視線から、引き続き、都政改革に取り組んでいく決意です。

### Report 1

## 放射性物質の食品検査体制を強化し、保護者の不安解消に努めよ！

福島第一原発事故による影響で、農林水産物から放射性物質が検出されました。暫定規制値を超えた物は出荷停止となっていますが、給食に規制値を超えた牛肉が使用されたことが判明しました。そこで、食品の安全に対する信頼が揺らぐ中で、安全な食品の流通・消費のためにも、食品検査体制の強化が必要であると、都の見解を質しました。また、学校・幼稚園・保育所等の給食については、食材の放射能検査等を実施する区市町村への支援や、食材産地の公開、栄養士等への必要な研修の実施などを求めました。しかしながら、都教育庁は「教職員に対する正しい知識の付与など、適切な情報提供に努める」との答弁にとどまっています。



### Report 2

## 鈴木かつひろ都議は、都議会民主党を代表して討論に登壇しました。



### 「2020年オリンピック・パラリンピック大会の 東京招致に関する決議」について発言しました。

「第 32 回オリンピック競技大会及び第 16 回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議」にあたって、提案者の立場から討論を行います。スポーツは己の肉体と精神の鍛錬に励み、人間としての可能性の極限に挑む崇高な挑戦です。そこには美しい命の輝きがあり、見る者にも希望や感動を与えます。こうしたスポーツの魅力に注目することは、東京そして日本が直面する諸課題に対し、大変意義深いことだと考えます。2020 年オリンピック・パラリンピック大会を通してエネルギーな東京を実感してもらい、日本の復興を理解していただくことは、閉塞感を打ち破り、国民に活力を与える絶好の機会です。また、新たな人間社会を構築していくために、われわれは改めて人間そのものに目を向けていかなくてはならないと考えます。スポーツ振興、そしてオリンピック・パラリンピック大会招致への取り組みは、その端緒となるものです。オリンピック・パラリンピックの招致活動は、小手先のキャンペーン活動にとどまってはなりません。都民が生活の中にスポーツを取り入れる環境の整備や、オリンピックを目指す選手たちへの育成支援といった、スポーツ環境全体の底上げこそが、気運の醸成につながります。そしてインフラ整備においても、経済効率に偏った都市基盤整備ではなく、新しい暮らしの創造を提案する生活重視の都市づくりが、生活向上や、国際競争力向上にもつながり、世界中のアスリートから、東京で競技をやってみたい、という国際社会の支持にもつながるのです。我々は、オリンピック招致に再度、手を挙げる以上、前回のような轍を踏まないよう、万全を期して取り組む必要があります。何が何でも成功を勝ち取るのだという強い信念で、都民・国民が一体となって成功に向かう招致活動を、われわれ都議会、そして東京都は目指すべきです。オリンピック招致の意義を具体的にわかりやすく都民・国民に説明し、あらゆる機会を捉えて、その理念を訴えていく必要があります。同時に世界の国々に対しても、発信力のある招致理念の下、JOC と一体となって、国やスポーツ界、経済界と緊密な連携をとり、そこに住む私たち一人ひとりのエネルギーの総力を挙げて、オールジャパンで、招致活動を成功させなくてはなりません。私たちの提案を真摯に受け止めていただき、ともに招致実現を目指そうではありませんか。特に自民党の皆さんには、視野を広く持っていただき、この招致活動に水を差すような言動は厳に慎まれるよう求めて、都議会民主党を代表しての討論を終えます。

※一部抜粋。鈴木かつひろ都議会議員の討論の全文は 都議会民主党のホームページからご覧になれます。